

前号では状況補語節(Cláusula Circunstancial)の1つである「時の節」(cuando〜が代表的)を扱いましたが、今号では引き続き状況補語節の一種「様態の属節」(Cláusula Modal)をみていきます。

様態の従属詞節とは「〜のように」、「〜の状態で」などを意味するものです。文法的には節全体が主節中において様態の副詞と同じように働きます(「asi〜のように」で置き換えができます)。1番基本的なのがcomo〜で導かれるものです。comoの後の動詞が直説法になるか接続法になるかは場合によります。

Lo hago **como** me mandas.

君が命令するようにする。

Lo haré **como** me mandes.

君が命令するようにするよ。

前者の例文では既に命令がされているか、習慣を表して「いつも君が命令するように」の意味です。後者の接続法mandesを使った例文では、まだ今の時点で命令はなされていなくて、命令内容は「未確定」というわけです。

文法的に言うと上の様態のcomoは接続詞ですが、実は関係副詞とも密接な関係があります。例えば、

Siempre me ha gustado la manera **como** juega ese futbolista.

そのサッカー選手のプレーの仕方がいつも好きだった。

この例文ではcomoは関係副詞です。先行詞としてのmanera(他にmodo, forma, etc.)を受けています。しかし、以下のようにla maneraを省略しても意味はほとんど変わりません。むしろ自然な表現です。

Siempre me ha gustado **como** juega ese futbolista.

そのサッカー選手のプレーの仕方がいつも好きだった。(同上)

さて、comoがtalやasiと呼び「tal…como」、「asi…como」と関連構文として使われることもあります。いわゆる「様態の比較構文」です。

Nuestro tren llegó con 20 minutos de retraso **tal como** estaba previsto ya de antemano.

我々の電車は、前もって予想されていた通り20分遅れて到着した。

この例文ではtalを取っても文として成り立ちますが、talがあった方が少し強制的な感じがするようです。

続いて、comoが条件を導く接続詞siと組み合わせられて、「まるで〜のように」を意味する“como si〜”の用法をみていきましょう。

Ella se comporta **como si** fuera la reina.

彼女は女王様であるかのようにふるまう。

como siの後は接続法過去になります。なぜでしょうか。この構文は次のように分析できます。

Ella se comporta **como** (se comportaría) **si** fuera la reina.

彼女はもし女王様であつたらふるまっただろうかのようにふるまう。

comportaríaと過去未来になっているのは事実と反する仮定の用法です。この部分は時制こそ異なるもののすぐ前のcomportaの繰り返しになるの

で省略されるわけです。結果として「como si + 接続法過去」という反実仮定の構文になります。

como siの後は過去の事実と反する仮定を表すこともあります。その場合は「接続法過去完了」が使われます。先ほどの例を過去にしてみます。

Ella se comportaba **como si** hubiera sido la reina.

彼女は女王様であつたかのようにふるまっていた。

ところで、comoは本来、様態の接続詞(〜のように)ですが、派生的に様々な意味で使われるようになっていきます。代表的なのが「原因のcomo」(〜だから)や「条件のcomo」(もし〜なら)です。これらは今後「原因節」や「条件節」を扱ったときに触れる予定ですが、簡単にまとめておきましょう。

●接続詞としての本来の用法:様態(〜のように)

接続詞としての派生的用法:

「como + 接続法」条件(〜すると), 「como + 直説法」理由(〜ので)

●関係詞として様態を意味する名詞を受けて:

“modo (manera, forma, etc.)…como”

関係詞として比較構文で:

“tan(to)…como”, “tal…como”, “así…como”

●その他:資格(〜として), 概数(約〜)

非常に広範な用法を持つ語だとわかりますね。

それでは、como以外の接続詞もみていきます。まずはsegún, conforme「〜にしたがって、〜に応じて」の例から挙げます。

He manejado el ordenador **según** indica el manual, pero no funciona.

マニュアルにしたがってパソコンを操作したが作動しない。

接続詞は通常、強勢のない語ですが、segúnは強勢あることに注意しましょう。語源的に「続く」の過去分詞から来ていて接続詞になりきっていないからです(segundo「続いた、2番目の」→según「〜にしたがって」)。

segúnとconformeは、2つの動作の同時並行関係を表すこともできます。この意味で“a medida que〜”とほぼ同じ意味です。

Los asistentes se iban sentando **conforme** entraban en la Aula Magna.

出席者たちは講堂に入るにしたがって着席していった。

さて次は、「〜と同じように」を意味する“(al) igual que〜”, “del mismo modo que〜”の例文を挙げてみます。

Carmen habla **igual que** hablaba su madre.

カルメンはその母と同じように話す。

Del mismo modo que ocurrió en otros países avanzados China va a enfrentarse al problema del envejecimiento de la población.

他の先進国と同じく中国は高齢化の問題に直面するだろう。

様態節の用法、とりわけ多様なcomoの用法をマスターすることはスペイン語学習者にとってキモではないでしょうか。¡Hasta la vista!



仲井 邦佳 なかいくによし / Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。専門はスペイン語学。著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語一文法と演習』(共著、同学社)などがある。